

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 24 年 5 月 31 日現在

機関番号：14503

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2009～2011

課題番号：21530836

研究課題名（和文） 地域における幼稚園の有効な子育て支援のあり方に関する研究

研究課題名（英文） A Study on child-nurturing support in a kindergarten of the area

研究代表者 名須川 知子

(NASUKAWA TOMOKO)

兵庫教育大学・学校教育研究科・教授

研究者番号：50144621

研究成果の概要（和文）：本研究は、地域の幼稚園における子育て支援について全国調査を実施し、幼稚園における子育て支援事業の実態を把握するとともに課題を明らかにしたものである。その結果、保育参観は9割実施されており、園庭開放は半数の幼稚園で実施されていた。子育て講演などや子育て相談も半数の幼稚園で実施されていたが、父親中心の活動の実施はまだ十分されていなかった。また、子育て支援事業を実施することによって保護者や教職員の成長は大きい、教職員の負担は大きいという結果であった。子育て支援事業は必要であるが負担も大きいことが明らかになった。

研究成果の概要（英文）：The present study to execute the nationwide survey of child-nurturing support in the kindergarten in the region, and to understand the realities and is clarifying of the problem to child-nurturing support in the kindergarten. Result the child care visit is executed by 90 percent. A garden opening, a child-nurturing lecture, and a child-nurturing consultation were executed by 50 percent. The activity at the father center was not enough yet. The kindergarten-personnel's load was a result in which it was large though guardian and the kindergarten-personnel's growth was large.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2009年度	1,000,000	300,000	1,300,000
2010年度	700,000	210,000	910,000
2011年度	600,000	180,000	780,000
年度			
年度			
総計	2,300,000	690,000	2,990,000

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：教育学・教育学

キーワード：幼児教育・保育

1. 研究開始当初の背景

子育て支援については、保育所・幼稚園でセンター的機能として実施することが望ましいとされている。保育所はもともとの性格が子育て支援であったことから、在園児の親子はもとより、地域への子育て支援もその延長として実施することが比較的容易にできている。しかしながら、幼稚園での子育て支援は、やっとならぬ園児の親子に対する支援内容が軌道にのってきたところであり、幼稚園の所在地の地域に関してはその実施が未だ不十分である。今回改訂された新幼稚園教育要領で、地域の未就園児をもつ保護者のニーズに応える子育て支援としての「親と子の育ちの場」の役割や機能を一層発揮できるよう、さらなる幼稚園運営の弾力化が求められている。一方で現在の子育てをめぐる地域の状況は、大変「子育てしにくい」ものとなっている。そのような点からも、公的な場で、それも幼児の育ちにふさわしいところとして「地域の幼稚園」が子育て支援センターとしての機能を果たすことは意味のあることである。

2. 研究の目的

本研究では、(1)地域における幼稚園の「子育て支援センター」としての役割について、実態を把握し、その課題、問題点を明らかにする。また、(2)モデル園の様子を調査する。現実にどのような子育て支援が可能であるのか言及する。

3. 研究の方法

第一次調査として、平成 21 年度に兵庫県内全公立幼稚園約 476 園の子育て支援状況をアンケートによって明らかにした。さらに、引き続き全国調査として各市町の公立幼稚園と私立幼稚園をピックアップし、計 1730 園の調査を実施した。

第二次調査として、平成 22 年度は第一次調査で得られた結果から、幼稚園の地域子育て支援に関する推進園について実地調査をした。そこでは、幼稚園での子育て支援の実際について、その目的、効果についてインタビュー調査をした。

第三次調査として、平成 23 年度は、兵庫県内幼稚園の「子育て担当者」にアンケートを実施した。それらの結果を 21 年度の結果と比較分析し、幼稚園にふさわしい地域子育て支援策について分析考察した。

4. 研究成果

幼稚園について子育て支援事業については、新幼稚園教育要領では明記されているが、全国的な実態調査が殆どされていない。今回の調査で全国的に園庭開放や啓発活動は、概ね実施されていることが明らかとなった。未就園児親子への園庭開放、子育て相談は実施されつつあることがわかった。一方、電話での子育て相談、おやじの会など父親中心の活動等はまだまだ十分とは言えない状況である。

また、設置主体での相違、地域差もみられた。この点は、さらなる詳細な調査が必要であるが、その地域のセンター的な役割としての子育て支援の拠点として現行の幼稚園教育要領で記載されている限り、地域の特性に応じた子育て支援事業を展開することは課題とである。また、幼稚園側は、子育て支援事業は必要性を感じながら負担感があり、実施が難しいといった意見が多く見られた。幼稚園教師の専門性の研鑽も含めて、「子育ての支援」の実現への課題はまだ多くあると考えられる。

一方、兵庫県公立幼稚園のアンケート調査からは子育て支援事業の具体的な内容は、園庭開放や啓発活動等であり、それは概ね

実施されていることがわかった。また未就園児親子への園庭開放や子育て相談は実施されつつあることがわかった。一方、電話相談、おやじの会など父親中心の活動等は、まだ十分とは言えない状況であった。さらに4件法での回答分析や自由記述の分析から、子育て支援事業は、幼稚園側は必要性を十分感じながらも負担感があり、実施が難しいところもあることが明らかになった。このことは、全国調査と同傾向であった。また、意見としては具体的な工夫や地域子育て支援についての先駆的な取り組みといった積極的な意見よりも、現代の幼稚園での必要性和負担が殆どであった。これは、回答者に園長が多いということも影響があるかもしれない。

幼稚園のインタビュー調査によると、調査各園での具体的な工夫がみられ、保護者の啓発だけではなく、保護者が子どもと共に活動する楽しさを感じることで、そして、子どもにとっての遊びの意味を理解してもらおうとする姿勢が共通してみられた。また、そのためには幼稚園がわかからの発信の必要性和といった積極的な幼稚園の手立てが見いだされた。負担感を感じながらも、丁寧な子育て支援に取り組まれていることもわかった。忙しさの中にも子育てに悩み、その手立てを求めている切実な事柄がきっかけとなり、子育て支援事業の実施につながっている様子が窺えた。また、保護者と幼稚園との共同性を培うきっかけが多く語られ、信頼関係を築いていこうという姿勢が窺える結果となっている。さらに幼稚園の保育の方針を理解してもらえようになったり、保護者間の調整の必要性がわかったり、子育て支援事業の母親への効果は実感としてあり、子育てをするもの同士のつながりを育むことが望まれていることもわか

った。このことは、以前実施した子育て支援による母親の意識の変容の調査結果とも重なるところである。

アンケート調査のみでは、子育て支援は負担が大きいということが強調されたように考察されたが、インタビュー調査を実施したことで、幼稚園が、幼児の健やかな成長のために保護者との信頼ある円滑なかかわりの努力を続けている様子が窺える結果となった。幼稚園側の忙しさのなかにも、丁寧な子育て支援事業を続けることが、保護者と幼稚園の共通理解につながり、子育ての楽しさを共有する子育てのあり方がわかってきた。

今回は、兵庫県における幼稚園における子育て支援事業の実態について、主に園長としての意見を集約する結果となった。第三次調査として、「必要であるが負担の多い」幼稚園の子育て支援事業の実態を子育て支援担当者を対象にさらに調査し、有効な幼稚園における子育て支援のあり方について考えていきたい。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計2件)

(1) 楠本洋子・名須川知子「兵庫県公立幼稚園における子育て支援に関する研究」

(『学校教育学』兵庫教育大学学校教育研究センター、第24巻、15-21, 2012)

(2) 名須川知子・楠本洋子「幼稚園における子育て支援に関する研究」(『兵庫教育大学研究紀要』第39巻、27-33, 2011)

〔学会発表〕(計5件)

(1) 名須川知子・楠本洋子「兵庫県公立幼稚園における子育て支援に関する研究(2)―担当者から」(日本保育学会第65回大会、平成24年5月)

(2) 楠本洋子・名須川知子「兵庫県公立幼稚園における子育て支援に関する研究」(日本保育学会第64回大会、平成23年5月)

(3) 名須川知子・楠本洋子「幼稚園における子育て支援事業に関する研究―全国調査

を中心に」(日本乳幼児教育学会第20回大会、平成22年10月)

(4) Tomoko Nasukawa "The parents condition of the child care support of the kindergarten in Japan"(第26回 OMEP 幼児教育世界開講会議; スウェーデン, 平成22年8月)

(5) 楠本洋子・名須川知子 「幼稚園における子育て支援事業の効果に関する研究」(日本保育学会第63回大会、平成22年5月)

[図書] (計0件)

[産業財産権]

○出願状況 (計0件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

出願年月日:

国内外の別:

○取得状況 (計0件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

取得年月日:

国内外の別:

[その他]

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

名須川 知子 (NASUKAWA TOMOKO)

兵庫教育大学・学校教育研究科・教授

研究者番号: 50144621

(2) 研究分担者

()

研究者番号:

(3) 連携研究者

()

研究者番号: